

春号

第152号

財団法人 山梨県交通安全協会

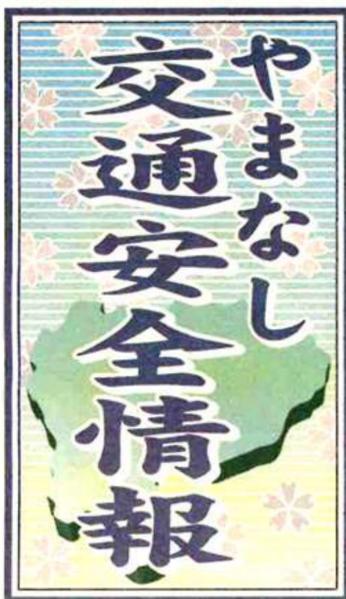
発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL (055)-237-7827
〒400-0064 甲府市下飯田一丁目13-23
(ホームページ <http://www.yin.or.jp/user/ankyou/>)

- | | | | | |
|----------|-----------|-------------|----------|-----------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 南アルプス交通安全協会 | 韭崎交通安全協会 | 長坂交通安全協会 |
| 鯉沢交通安全協会 | 南部交通安全協会 | 市川交通安全協会 | 笛吹交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 塩山交通安全協会 | 都留交通安全協会 | 富士吉田交通安全協会 | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |

自動車安全運転センター山梨県事務所
社団法人・山梨県バス協会
山梨県二輪車安全普及協会

社団法人・山梨県トラック協会
社団法人・山梨県自動車整備振興会
山梨県自転車軽自動車商協同組合

山梨県タクシー協会
山梨県軽自動車協会
社団法人・山梨県建設業協会



高齢者への反射たすき着用を指導する都留交通安全協会下谷支部のメンバー

—都留市中央4丁目

やめようよ 自身のルールで 走るのほ

春の全国交通安全運動

4月6日から15日

交通安全カレンダー

- 4月 春の全国交通安全運動
- 6月 交通安全子供自転車山梨県大会
二輪車安全運転山梨県大会
- 7月 夏の交通事故防止県民運動
- 9月 秋の全国交通安全運動
- 10月 山梨県中学生交通安全弁論大会
- 12月 年末の交通事故防止県民運動
- 平成18年 2月 交通安全推進県民大会

春の全国交通安全運動が四月六日から十五日までの十日間、全国一斉に行われます。この運動は「やめようよ、自分のルールで、走るのほ」をスローガンに、広く県民に交通安全の思想の普及や浸透を図り、交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自身による道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、事故防止の徹底を図るものです。

運動期間中、県内では県、県警、県交通安全協会をはじめ関係機関が中心になり事故防止に取り組めます。今回は小学校の入学児童や幼児、高齢者の交通事故防止を基本に①二輪車の安全利用の推進②シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底③飲酒運転等悪質・危険な運転追放を重点に交通ルールの向上に力を注ぎます。

内容紹介

- 2面 交通安全を届ける“さちかぜ号”
- 3面 交通安全国民運動中央大会表彰
県内交通安全功労者の表彰
- 4、5面 各地区安協の活動
- 6面 各地区安協の活動
平成17年度県安協の活動重点
- 7面 自転車、バイクのマナーアップ提言
- 8面 協賛団体の交通安全活動

交 差 点 山梨県における六十五歳以上の人口割合は、県民四・七人に一人と他県に比べて高齢化の進展が著しくなっております。

▼こうしたなかで、昨年中の高齢者の交通事故死者は二十八人となっており、このうち十五人は歩行中に亡くなっております。この数は、他の年齢層に比較して相当高くなっております。▼ところで、こうした高齢者の歩行中の事故を防止するための対策に關しまして、高齢運転者については道路交通法で一定の講習等が義務付けられ、交通安全のための再教育が行われておりますが、運転免許を保有していない高齢者については、交通ルールや交通情勢等についての知識等についての教育等は全く行われておりません。▼このように交通安全教育を受ける機会のない高齢歩行者を対象に、高齢者が被害者となりにやすい、道路の横断や夜間における歩行上の留意事項などを広く知らしめるため、高齢者の交通事故防止を最重点に、今年も春の全国交通安全運動を実施いたします。▼交通安全協会では、この運動の定着化を図るために、高齢者自身が交通の危険性を体験できる交通安全教室の開催や、地域社会や家族が中心となって行う反射材の貼付活動などを支援するための幅広い活動を強力に推進して行くこととしております。▼地域社会や家族が一体となつて、高齢歩行者の各種の交通事故防止対策に、今年こそ重点的に取り組んで行く必要があると、考えております。

交通安全を厚める「さちかぜ号」



中道保育園(南甲府安協管内)で開かれた「さちかぜ号」の交通安全教室

交通弱者を事故から守ろう

平成十六年中における交通事故発生状況は、発生件数七千四百八十五件、死者八十八人、負傷者九千八百四十九人と前年と比較し発生件数、死者数、負傷者数ともに減少しました。

人身交通事故の発生件数、死者数、負傷者数すべてが減少したのは、昭和六十一年以来実に十九年ぶりの快挙を記録し、死者数は平成十一年から六年連続して二桁台で推移するなど緩やかではありませんが減少傾向を示しています。

しかし、全国的にみると人口十万人当たりの死者数は九〇一人(全国平均五・八〇人)と全国ワースト第七位であり、また、減少傾向にある



かせ

とはいえ年間一万人近い死傷者を数える等依然として厳しい交通情勢にあるといえます。これに加え、車両だけの損壊で済んだ物損交通事故を含まれると、県内の交通事故件数は二万七千二百件発生しております、これは県民三十三人に一人が交通事故に遭っていることとなります。

特に、交通弱者とされている子どもと高齢者の安全対策に重点をおいて取り組んでいます。子どもや高齢者が自分自身の安全を確保するためには、自らが交通安全意識を持つて行動することが必要です。多発する交通弱者の死亡事故に歯止めをかけるために

このように交通事故は、県も、昭和五十四年十二月から、県警察本部交通企画課に交通安全対策を推進してまいります。しかし、敬意を表する次第であり、また、人口十万人当たりの死者数は九人と、全国平均五・八人を大きく上回りワースト第七位となっております。転による死亡事故は九件と減少傾向にあるものの、いまだに発生が後を断たないことなど、決して楽観はできません。

交通死亡事故を抑止するために

県警交通部長 小河原 正夫



発生件数、死者数、負傷者数のすべてが減少したのは、昭和六十一年以来十九年ぶりで、年間の死者数も平成十一年から連続して六年間、二桁台で推移しております。

このような状況の中で、県内における昨年の死亡事故の特徴を見ますと、①高齢者の死者数は二十八人で、死者数の三五パーセントと、依然として高い比率であることの高齢運転者による事故が十一件十一人と、全死亡事故件数の一四・五パーセントを占めており、高齢者が加害者となるケースが増加していること③シートベルトの着用率は四三・三パーセントと低水準にあること④飲酒運転による死亡事故は九件と減少傾向にあるものの、いまだに発生が後を断たないことなど、決して楽観はできません。

県警では、こうした厳しい実態を踏まえ、本年の業務重点目標の一つに「交通死亡事故抑止」を掲げ、交通事故の特徴を捉えた交通安全施設の整備や交通指導取り締りを強化

実践するなど、平素から交通安全に対する意識を高めることにより、はじめて達成することが可能になるものであります。県民の皆様も、このような点をご理解のうえ、交通死亡事故の抑止にご協力をお願い申し上げます。



安全のために、体の皆様方のご尽力の賜であり、そのご労苦に対しまして、心から感謝申し上げます。

このように交通安全施設を整備や交通指導取り締りを強化

実践するなど、平素から交通安全に対する意識を高めることにより、はじめて達成することが可能になるものであります。県民の皆様も、このような点をご理解のうえ、交通死亡事故の抑止にご協力をお願い申し上げます。

実践するなど、平素から交通安全に対する意識を高めることにより、はじめて達成することが可能になるものであります。県民の皆様も、このような点をご理解のうえ、交通死亡事故の抑止にご協力をお願い申し上げます。

チャレンジ200

1チーム5人 やってみるジャン

みんなの約束！無事故・無違反



「チャレンジ200」は、「守ろう！交通ルール 高めの賞品が当たる抽選会」に参加

約束！無事故・無違反」を合言葉に、一チーム五人で二三日間の無事故・無違反に挑戦する参加・実践型の交通安全運動です。この運動で無事故・無違反を達成したチームは、三十万円の旅行券やリニア試乗などの賞品が当たる抽選会に参加

◆問い合わせ先 セーフティドライブ・チャレンジ作戦実行委員会(山梨県県民生活課内) 電話 055・223・1353 ファックス 055・223・1354

◆参加料 一チーム三千五百円(一人七百円)全額を運転記録証明書の申請に充当
◆募集期間 四月八日(金)～五月三十一日(火)
◆申し込み方法 県の各地域振興局、市町村、警察署などの窓口においてある申込用紙に必要事項を記入し、当実行委員会事務局または各地域振興局まで郵送か持参のうえお申し込み下さい

◆応募資格 運転免許(国内免許)を持つ、県内在住または県内在勤者(一チーム五人)
◆募集部門 一般の部 シルバーの部(メンバー全員が六十五歳以上)
◆チャレンジ期間 六月十五日(水)～十二月三十一日(土)の二百日間
◆応募資格 運転免許(国内免許)を持つ、県内在住または県内在勤者(一チーム五人)

リニア車両

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店
株式会社 **たいよう共済山梨支店**

甲府市丸の内二丁目16-1
富士急ビル6階
TEL055-228-0691

安協から

■ 交通安全協会は、県北西部に位置する市町のほか、甲斐市のうち旧双葉町、北杜市のうち旧須玉町および旧明野村を所管区域としています。

管内は、北東部に金峰山・瑞麟山・茅ヶ岳、西部に鳳凰三山などを主とする山岳地帯を配しているほか、金峰山を源流とする塩川が北から南に、甲斐駒ヶ岳を源流とする釜無川が西から東に流れており、この流域に住宅地域が形成され、県都甲府市への通勤エリアともなっております。

二人、負傷者数六百九人(前年比マイナス十六人)となっております。一昨年に比べわずかでありましたが、いずれも減少しました。しかし、戦後最悪を記録した一昨年とほぼ同数で推移しており、依然として予断を許さない情勢にあります。

その主な要因として、当協会の管

内、①新入学児童の交通安全実践教室の高齢運転者に対する体験型交通安全教室②各支部の交通安全要員における街頭指導活動③交通安全看板、のぼり旗の作成・掲出など各種施策を推進しているところでもあります。

申すまでもなく交通事故が発生しますと、尊い人命が失われ、傷つき、関係者の嘆きや悲しみはもとより、社会的にも大きな損失を被ることになります。

従って、「安全・安心な街づくり」を進めていくためには、交通事故をなくす努力を欠かすことはできません。

当協会では、「交通事故のない安全な地域づくり」を目的に、市警察署および各種交通関係団体と連携を図り、交通情勢も一段と厳しくなることが予想されるため、われわれ交通ボランティア組織としての使命もますます重要になってくるものとと考えております。

交通安全協会 清水 武則

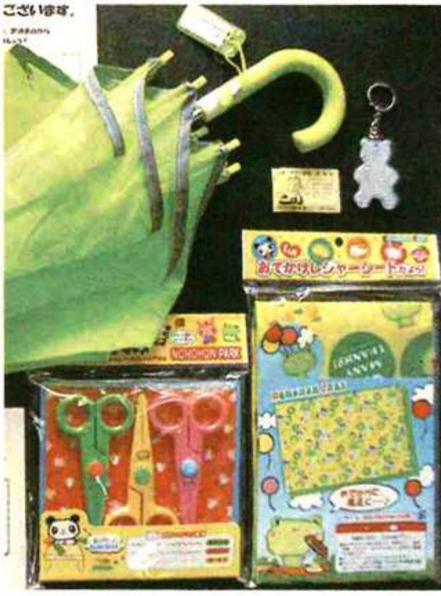


交通安全協会 清水 武則

県内各安協の活動

新入学児童・園児に交通安全用品を贈呈

富士吉田交通安全協会(渡邊日出男会長)は、管内の新入学児童・園児の交通事故防止活動として今年で十回目となる交通安全用品のプレゼントを実施する。贈呈式は四月六日の交通安全運動の初日で、贈呈する交通安全用品は、新入学児童二十校千四百人、反射材付の傘とパンフレット、新入園児三十園千三十二人、文具セット及び反射キーホルダーとパンフレットです。



小学生用反射材付きの傘や文具セットなど

交通安全標準語募集で小中学生9人を表彰

〇〇都 留

都留交通安全協会(山口一郎会長)の都留市連合支部(井上満支部長)は、昨年十二月三日、ミュージアム都留で、交通安全啓蒙標準語コンクール



交通安全標準語募集で表彰された小中学生

最優秀の谷村第二小学校、石井靖也君の「ちよつとまってーしん号青でも右左」、禾生第二小学校、天野愛理さんの「ゆずりあう やさしい心に事故はなし」、都留第一中学校、遠山卓己君の「命より大切にすか?その電話」の三点は、のぼり旗にして市内に掲げま

した。

下谷支部(井上支部長)は、都留警察署員とともに三月八日、都留市中央四丁目地内(西涼寺)で、高齢者訪問を行いました。女性部役員がお年寄りから、交通安全の注意点を聞き取り、交通安全の注意点を指導するとともに反射ステッカーを配り、交通課長が、夜間の外出時の注意点について指導を行い好評でした。



袋詰めしたゆずを運転手に手渡しする上野原安協のメンバー

「譲る」と「ゆず」と、ごろを合わせた「ゆずり合う」が自慢のうえの「ゆず」を配りながら安全運転を呼び掛け好評でした。



日下部安協の交通安全祈願祭

大嶽山那賀都神社で交通安全死者の減少願う

〇〇日下部

日下部交通安全協会(河野勝会長)は、警察署、安全運転管理者協議会、交通安全母の会、地域交通安全推進委員、市町村交通指導員の役員など七十人と、一月十三日、山梨市大嶽山那賀都神社で、平成十七年の交通安全を祈願。連携した活動により安心・安全な地域社会づくりを誓いました。

上野原交通安全協会(和田博夫会長)では、警察署、安全運転管理者協議会、交通安全母の会連合会、地域交通安全活動推進委員会など五十人から、昨年十二月一日午前十時から、上野原市役所前において、年末の交通事故防止県民運動のための街頭活動を実施しました。

一宮浅間神社で死亡事故0誓う

〇〇笛 吹

笛吹交通安全協会(三枝力会長)では、警察署、東地域振興局、笛吹市、芦川村、管内各種交通安全関係団体の役員など七十人が、笛吹市・甲斐一宮浅間神社で、十七年交通安全祈願祭 笛吹安協の交通安全祈願祭 認しました。



大嶽山那賀都神社で交通安全死者の減少願う

交通安全祈願祭 認しました。

幅広く地域見守る

児童の安全確保で パトロール隊発足

○：甲 府

甲府交通安全協会（保坂輝行会長）の石田支部（深沢祐治支部長）は、全国的に児童を狙った犯罪が相次いでいることから、犯罪や事故抑止は警察だけに頼らず、自らの手で安全・安心街づくりを目指そうと、児童の交通安全を重点とした犯罪抑止のための「児童安全パトロール」隊を



甲府安協石田支部が発足させた児童安全パトロール隊

昨年十一月一日に発足させました。以来、役員五、六人により、月々金曜日の平日に、石田小学校児童の登下校時に石田小学校の正門や同小学校の周辺の主要交差点等において、街頭監視活動や児童への声かけを実施しています。児童からは出動した安協役員に対して、「気をつけて帰ります」といった明るい声が元氣よく聞こえており、児童の交通事故のほか地域の犯罪防止に貢献しています。

地域の会合の席上においても、安協石田支部役員らの活動について紹介されたり、地域の皆様からも非常に感謝されています。

久遠寺で新年の祈願 恒例節分会で出動も

○：南 部

南部交通安全協会（依田倉蔵会長）は一月十一日、身延山久遠寺で、身延町、南部町、南部安全運転管理者協議会、



久遠寺で行われた南部安協の交通安全祈願

南部交通安全母の会連合会とともに新年交通安全祈願祭を開催しました。この交通安全祈願祭は、毎年開始に南部警察署管内の交通安全関係団体役員が一堂に会し、管内から悲惨な交通事故がなくなるよう祈願するもので、今年も八十人の参加者全員が交通事故撲滅と管内住民の交通安全を熱心に祈願しました。

交通安全バザー開催 益金を奨学会へ寄付

○：市 川

市川交通安全協会（八木吉治会長）は、年々、運転免許更新時に市川交通安全協会に加入する個人会員が減少傾向にある中、財源を確保するため、

月三日に恒例の節分会が行われ、今年も人気力士や女性タレントによる豆まきを一目見ようと県内外から約三万五千人の来訪客が詰め掛けました。南部交通安全協会では、来訪客による交通安全整理を行ないました。



市川安協の交通安全バザー

された日常雑貨、野菜、果物などで、新聞折り込みで年末交通事故防止と併せたチラシを配布したことから大にぎわいとなりました。バザー開始から約一時間で完売となるほどの好評でした。バザーの収益金の一部を財団法人山梨みどり奨学会に寄付しました。

地域の事故防止 交通安全を祈願

○：南 甲 府

南甲府交通安全協会（山下讓二会長）は南甲府警察署、



南甲府安協の交通安全祈願祭

安全運転管理者協議会、交通安全母の会と一月十三日、甲府市住吉一丁目の住吉神社に役員等が参加して交通安全祈願祭を行いました。警察署長があいさつし、管内の昨年の交通事故は発生件数で七十四件、傷者数で九十七人と減少したものの死者が三人増加したことから、参加者全員が相互に連携して地域の交通事故を減少させることを誓い合いました。

相互に連携協力して 地域の安全思想普及

○：塩 山

塩山交通安全協会（内藤進会長）は、塩山警察署とともに



塩山安協の交通安全祈願祭

に、一月二十一日塩山市の菅田天神社で、安協役員、警察署員合わせて五十五人が参加して、交通安全祈願祭を行いました。式典では、相互に連携し交通事故の抑止を図ることを誓い、神事後、内藤会長、石川女性部会長、堀之内署長があいさつ、参加者は交通事故防止のため相互に連携、協力し地域の交通安全思想の啓蒙普及などの活動を一致団結して推進することを確認しました。

交通安全懸垂幕を 15小中学校に贈呈

○：葦 崎

葦崎交通安全協会（清水武



交通安全懸垂幕の贈呈式

則会長）では、昨年末に葦崎署管内の小中学校十五校に交通安全を呼び掛ける懸垂幕を贈呈しました。懸垂幕は統一A〇型、横五〇型のビニール製で、小学校用は「てをあげておうたんはどうをわらうね」などの標語と交通標識の解説。中学生用は「自転車も乗れば車の仲間入り」などの標語と自転車の禁止行為などを図解したものです。

葦崎市役所で行われた同市内の小中学校への贈呈式では、清水会長が山本教育課長に懸垂幕を渡しました。市内の各学校に配布され有効に活用されています。



山梨・長野県境合同街頭指導所設置のための打ち合わせ会

の山梨・長野県境合同街頭指導所設置打ち合わせ会を、佐久市内で開催しました。今年で十二回目となる合同指導で、四月十日に実施することを決めました。長野県白田警察署、南佐久交通安全協会と長坂警察署、長坂交通安全協会が連携しより効果的な交通安全活動を推進していくことを確認しました。

県境合同街頭指導所の 設置向け打ち合わせ会

○：長 坂

長坂交通安全協会（伊藤重忠会長）と長坂警察署は、三月八日、春の交通安全運動中

高い無事故率

早く優しい地元のための教習
山梨県公安委員会指定

公認 岳麓自動車
教習所

富士吉田市新西原5-5-1
☎0555-22-1689

普一、大型一・二、大特
けん引、自二
(合宿施設有)

最優秀に長田、石川さん

自転車・バイクのマナーアップ 若い提言が社会変える

足元から交通安全

このページに掲載しましたの
 ツプ対策として中学生・高校
 生・高齢者など自転車やバイ
 クを日常的に使用している方
 からのご意見を募集したとこ
 ろ、多数の皆様から応募をい
 ただきありがとうございます。
 入賞者は次の通りです。(敬
 称略)

▼最優秀賞 【自転車の部】
 長田薫(市川高校) 副賞自転
 車【バイクの部】 石川香織
 (巨摩高校) 副賞バイク

▼優秀賞 【自転車の部】
 内藤ふじ子(一般)、船村溪
 (白州中学) 副賞デジカメ
 【バイクの部】 杉本健(一
 般)、田辺美穂(園芸高校) 副
 賞デジカメ

▼佳作 各部門10名 副賞
 の図書券の送付をもって代え
 させていただきます。

当協会では、後援してい
 だいた山梨県・山梨県警察・
 山梨県教育委員会・山日YB
 Sグループの代表の皆様は原
 稿の審査をお願いし、厳選な
 審査の結果、自転車・バイク
 の両部門ごとに最優秀賞、優
 秀賞、佳作を決め、協賛の山
 梨ススキからの副賞を贈呈し
 ました。

最優秀作品につきましては

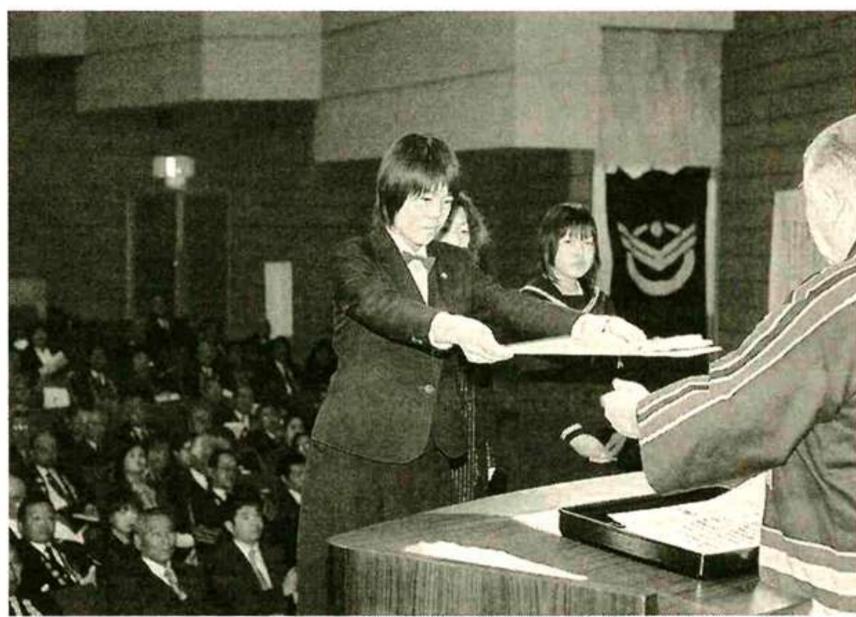


バイクの部最優秀賞の石川香織さん

自転車の部 最優秀作品

「自転車のマナーアップ対策について」

山梨県立市川高等学校2年 長田 薫



自転車の部最優秀賞の長田薫さん

私は毎日自転車で学校へ通
 っている。高校に入学してし
 ばらくの間は、特に自転車に
 乗る時のルールやマナーを意
 識していなかった。今は以前
 に比べてルールやマナーを守
 るようになってきた。そうなの
 が、あるおじいさん

に注意されたことだった。
 高校一年の春、私は学校に
 行くために自転車をこいでい
 たのだが、私は自転車が通行
 しなければならぬ左側でな
 く、右側を走っていた。前か
 ら同じく自転車で来たおじ
 いさんがやって来て、すれ違
 いざまに私は「自転車は左側
 だろう!」と怒鳴られてしま
 った。私はその時、怒鳴られ
 たことに対して腹を立てた
 が、すぐに注意されたことに
 恥ずかしくなり自分が交通ル
 ールを守らなかった事を反省
 した。

六十歳を超えた様なおじい
 さんが交通ルールを守ってい
 て、これからの社会を担って
 ゆく十代の私が守らないのは
 よくないと思った。それ以来
 私は、家から最寄りの信号を
 渡って左側通行を心がける様
 になった。

交通ルールは私達が安全に
 道路を通行できるようにある
 ものだ。それが守れない時に
 は事故が起き、自分や相手の
 尊い命が失われてしまうこと
 もある。
 私がおじいさんに注意され
 たことは幸運だった。そのお
 陰で私は自分がこれから起こ
 してしまうかもしれない事故
 を減らすことができたのだか
 ら。

特に、交通事故で親族を亡
 くされた方の講話は人の心を
 強く動かす。これからそうい
 った取り組みが増えてゆけ
 ば、次の世代を担う若者達の
 交通ルールを守ろうという意
 識だけでなく、他人への思い
 やりの心も育むことができる
 だろう。

バイクの部 最優秀作品

「バイク運転と命の重さ」

山梨県立巨摩高等学校3年 石川 香織

最近、バイク利用者のマナ
 ーの低下は著しい。では、バ
 イクのマナーの向上を目指す
 ためには、どのような心がけが
 必要だろうか。バイクという
 のは操作も難しくなく、最近
 では、新車でも十万円を下ま
 わる値段で販売されている。
 実に手軽な交通機関である。

それゆえ、交通マナーに対す
 る意識が薄いように思う。
 値段や操作の手軽さから、
 日常的に使用している人に
 は、若者や、お年寄りの多い。
 実際私もバイクを利用して
 る一人である。バイクを使用
 し始めてから一年半経つが、
 走行中事故に遭いそうになり

「危ない」と思ったことが、
 何度かある。その時になって
 初めて、事故の恐ろしさが身
 にしみたのである。
 バイクとはいっても、ほと
 んどの車種で最高六十キロ程
 度のスピードを出すことが出
 来る。もし、そのスピードで、
 車や、自転車、ましてや歩行

者と衝突したら…。自分だけ
 でなく相手をも傷付けること
 になる。最悪の場合、相手の
 命を奪うことにもなりかねな
 い。私たちは、走る凶器に乗
 っているのである。そのこと
 を常に意識すべきである。そ
 して「事故の向こう側」を考
 え、知っておく必要もあるの
 ではないだろうか。

「事故に遭わないように気
 を付けよう」という警鐘は、
 最低限であり、もっともであ
 る。しかし、事故を起こして
 しまった先はどうなるのだろ
 うか。現実問題として、賠償
 金や慰謝料の支払いや、裁判
 沙汰になる場合もある。未成
 生が二人、バイク事故で亡く

なった。私はそのことを生涯
 忘れることはないだろう。バ
 イクに乗っている人を見たとき
 き、自分がバイクに乗るとき、
 必ず思い出す。すると自然と
 安全運転になる自分がいる。
 バイクを運転するにあたっ
 て大切なのは、命に誠実であ
 ることだ。走行中、顔の見え
 ない相手のことを考える。自
 分のちよっとした不注意や怠
 慢で、相手や自分を傷付けて
 しまうかもしれない。便利で
 日常的に使用するものだから
 こそ、日頃の心がけを忘れない
 ことが、バイクのマナーの
 向上につながるのではないだ
 ろうか。

毎年八月は「道路をまもる月間」です。私も建設業協会各支部では、毎年、県内各地の主要道路で周辺の清掃・空き缶・空きビンの片づけ、草刈り、街路樹の枝落としのほか、草花の植栽などを行ない快適な道路環境づくりに汗を流しております。特に、本年度からは県土木部と「環境ボランティア活動」推進の担い手として協定を結び、道路交通環境ばかりでなく、公園・河川など公共施設の美化活動に積極的に取り組んでおります。

暑い日差しが照りつける中、重機を持ち寄り、ダンパーを提供して、沿道の不要物・障害物の片づけ回収作業を行いました。また、タンクにタンパーは空き缶や雑草などで一杯になりました。終わってみると、施業箇所は見違えるほどきれいに整備され、通行する人々から感謝されました。これも、日ごろ貴重な税金を使って行われる公



道路美化活動



交通誘導員による一般歩行者・通行車両の誘導



片側交通規制区間で作業をする工事用機械と作業員

(社)山梨県建設業協会

安全、快適な道づくりと工事現場の安全確保へ

共事業の施工を担当する者の社会への御礼の気持ちを込めて実施していることではあります。また、通行している一般の人々に、もっともと主旨と

効果を理解していただきたいと思ふ次第です。

また、当然のこととして交通安全を確保しながら行う道路に隣接した建設工事、片側交通など交通規制のもとに行う道路工事では、一般の歩行者・通行車両の安全確保のため、交通誘導員の配置など万全の措置を講じていますが、交通安全協会会員はじめ一般の方々にも現場付近を通過する時はどうか次の事項にご協力をお願いいたします。

①必ず交通誘導員の指示に従う

②誘導標識・クッション・ラム等の保安施設に近づかない

③交通流に接する車道側で働く作業員は、ヒヤリ・ハットの連続です。速度を落とし、安全を十分に確認しながら通過する

私ども建設業協会の会員は、人や貨物の移動が安全・快適に行えるよう、道路を管理する自治体等の計画に従っ

て新しい道をつつたり、交通渋滞の多発する個所の解消、事故が多発している交差点改良のための工事を行うなど、より良い交通環境づくりを大きな使命の一つと考えております。

交通事故をなくし、尊い人命を守るにはすべての者の協力が得られなければ成果は挙げられません。近年、高速道路はじめ主要幹線道路の整備が一定水準に達したことから、国民の道路に対する要望も、自転車専用車線の設置・幅の広い歩道など安全・快適な歩行空間の確保と電線類の地中化・沿道の緑化など環境美化に関心が高まっており、交通安全は、人・車・道路の三要素が複雑にからみ合っ

て起るものであり、安全対策の検討は非常に難しいといわれておりますが、豊かな生活環境を維持するためには避けて通れない重要問題です。山梨県においても年々歩道が整備され、電柱は取り除かれて電線は地中に埋められるなど、歩行空間は徐々に拡大してきてはいますがまだまだほんの一部に過ぎません。それぞれの地域に生活する人々が、安全・快適に行き来することのできる道づくりは、私ども建設業協会会員の願いでもあります。活発な経済活動を支え、安全・安心な交通環境をつくるため、互いに力を合わせて頑張

AMS (山梨県自動車整備振興会)
◇自動車リサイクル法がスタートしました!

使用済み自動車のリサイクル促進及び不法投棄防止の観点から「自動車リサイクル法」が平成17年1月から本格施行されました。これは、使用済み自動車(廃車)から排出される有用資源をリサイクルして、環境問題への対応を適切に図るための法律で、このようリサイクルに必要となる処理費用については、自動車ユーザーにご負担して頂くこととなっています。

これに伴い、自動車整備事業者は、リサイクル法の引取業者として車検時のリサイクル料金の預託及び使用済み自動車等のリサイクルルートを受入窓口として重要な役割を担っています。そこで、自動車ユーザーの方々には、次をご理解頂きますようよろしくお願いいたします。

- 1. 法定費用(税金等)前納のお願い
お客様が車検整備に際して、自動車重量税、自賠責保険料、自動車検査登録料、自動車税等に加えて、新たに自動車リサイクル料金が加わりました。法定費用を整備工場の一部立て替えるケースがありますが、法定費用の性格上、事前にお預け下さるようお願いいたします。
2. 自動車リサイクル料金預託代行手数料のお願い
自動車所有者は、平成17年1月以降最初の車検時にリサイクル料金の預託(支払)が義務付けられました。そこで、お客様から車検整備に際して、このリサイクル料金を事前にお預かりし、お客様に代わって国にリサイクル料金預託代行手続きを実施することになります。ついては、リサイクル料金預託代行業務にかかる実費のご負担をお願いいたします。
3. 使用済み自動車の適正処理費用のお願い
自動車リサイクル法の施行により、使用済み自動車を引き取る際には、事前にリサイクル料金が預託されていることが義務付けとなっています。しかし、リサイクル料金の内訳は、フロン類、エアバック及びシュレッダーダストのみの処理費用となっていることから、お客様のお車を適正処理するための車両別処理費用についてはリサイクル料金に含まれていませんので、別途ご負担をお願いいたします。

◇春の全国交通安全運動について!
アッと思った瞬間、とっさに「ブレーキを踏む」「ハンドルを切る」これは危険を避けるためのドライバーの行為です。しかし、その行為に対し、「止まる」「曲がる」これは車の能力です。日頃からの交通安全に対する意識の高揚と快適で環境に優しくそして安全な愛車を維持することは、ドライバーの責任です。私たちが日頃健康に気がつかっているように大切な命をゆだねる愛車にも点検、整備が必要です。
そこで、自動車整備業界では、「春の交通安全運動」の期間中を含む、4月6日～5月7日までの約1ヶ月間「確かめよう 点検整備と 車間距離」を標語に黄色い横断幕を県内主要幹線道路の横断歩道橋約50ヶ所に掲出し、ドライバーの皆さんへの呼びかけを展開します。

SJD 自動車安全運転センター

交通事故証明書の申請方法

自動車安全運転センターでは、交通事故の当事者が適正な補償を受けられるようにするため、当事者の求めに応じて、交通事故の発生日時・当事者の住所・氏名などを記載した証明書を発行しています。

交通事故に遭われた時は必ず警察に届出をして、後日、交通事故証明書の交付を受けるようにしてください。この証明書は、警察の保有するデータにより、当センターが証明するものです。

◆交通事故証明書は、次のように使われています。

- ★各種自動車保険(共済)の保険金(共済金)請求時の書類として。
★市区町村共済などの見舞金の請求書類として。
★育英資金・奨学金を借りる時の添付書類として。
★勤務先への提出書類として。
★その他、訴訟・示談・税控除の参考書類として。

◆証明書の申し込み手続き方法

- ★申し込みのできる方は、交通事故の当事者(加害者・被害者)及び当事者の委任を受けた方です。
★証明書の必要な方は、最寄の郵便局から郵便振替の方法により申し込むか、各地のセンター事務所へ直接申し込んでください。申し込みは、全国どこで発生した事故でも最寄りのセンター事務所です。
★申込み用紙(郵便振込用紙に印刷したもの)は、センター事務所のほか、警察署・交番・駐在所・損害保険会社・農業協同組合などに備付けてあります。
★証明書は、後日郵便でお届けするかセンター事務所の窓口で、直接お渡ししています。

～手数料は、1通につき600円です～

◆お問い合わせ先

自動車安全運転センター山梨県事務所
南アルプス市野牛島1828(運転免許センター内)
TEL (055)285-2345 FAX (055)285-2951
http://www.jsdc.or.jp/